



ものつくり大学 出張授業テーマ一覧

出張授業テーマ一覧

情報メカトロニクス学科

授業No.	テーマ	担当教員
101	風が吹くとなぜ電線は振動するのか？	香村 誠
102	スーパーコンピュータの話	香村 誠
103	光ディスクはどうやって作っている？	佐久田 茂
104	光速よりも速く回る歯車？？	武雄 靖
105	雷を使ってものづくりー放電加工機についてー	武雄 靖
106	ユニークなロボット「Qrobot」（キュウロボット）について	Vichai Saecho
107	古いけど大事な技術“溶接”	平野 聡
108	ロボットを動かす技術	細合 晋太郎
109	世界を支える小さなコンピュータ（組込みシステム）	細合 晋太郎
110	大規模なソフトウェアを作るには	細合 晋太郎
111	身のまわりの金属プレス製品	牧山 高大
112	人工筋肉を用いた未来のロボット?!～ソフトロボティクス入門～	松本 宏行
113	心地よい音を作るには～「音のふしぎ」を考える～	松本 宏行
114	コンピュータを活用した新しいものづくり～3Dプリンタ、3Dスキャナについて	松本 宏行
115	「振動のふしぎ」を考える～ものづくりに関わる振動工学の初歩～	松本 宏行
116	Iot、AR、VRで変わる「近未来のものづくり」について	松本 宏行
117	AIを活用した製品デザイン	松本 宏行
118	未来を創る私たちの循環経済	松本 宏行
119	音・オーディオの基礎入門編	三井 実
120	電子楽器の仕組みと、もの大発！最新電子楽器の紹介	三井 実
121	自動車生産現場での仕事 ものづくりは人づくり、改善に終わり無し	荒井 豊
122	馬車をクルマに変えたヘンリーフォードの物語	荒井 豊
123	折り紙で体験するトヨタ生産方式	荒井 豊
124	TPSの源流とDXを活用した次世代のものづくり	荒井 豊
125	航空管制システムを作ってみよう	上原 健嗣
126	金属を溶かして固める～鋳造加工とデジタル技術の活用	岡根 利光
127	アーティストの身体知をデータにする	永井 孝
128	見えない電波で“ある？ ない？”を見つけるーレーダ入門	山口 裕之
129	センサがあるから安心して乗れる！	具嶋 和也

出張授業テーマ一覧

建設学科

授業No.	テーマ	担当教員
201	歴史から学ぶコンクリート	荒巻 卓見
202	世界を変えるデザイン「Design for the other 90%」	今井 弘
203	折り紙建築の制作を通してカッターの使い方を学ぼう	大竹 由夏
204	アルミ箔で作る、建築模型	岡田 公彦
205	昔の設計図を読み解いてみよう	奥崎 優
206	木工具の話	佐々木 昌孝
207	ダンボールの構造を建築的に科学する	澤田 正樹
208	インフラを支えるコンクリート！	澤本 武博
209	身近なものの使いやすさ、使い心地	高橋 宏樹
210	近未来のまちづくり	田尻 要
211	森林と街をつなぐ、ものづくり・ひとづくりー木匠塾のスギタラケクラブの活動	戸田 都生男
212	家の間取り図・カタチの秘密ー人々の暮らし方からみた住まいー	戸田 都生男
213	「Bird Caii 鳴木声（なきごえ）」～木材を使った鳥のさえずり～	戸田 都生男
214	エアコンの仕組み	松岡 大介
215	住宅の断熱性能と健康	松岡 大介
216	住宅内の結露	松岡 大介
217	「建設業の未来の話」と「ものづくり体験授業」	三原 斉
218	歴史的建造物の話	横山 晋一

教養教育センター

授業No.	テーマ	担当教員
301	半径5メートルの経済学	井坂 康志
302	社会で何が行われているのか	井坂 康志
303	経営学の父「ドラッカー」の使い方	井坂 康志
304	千年村の、みつけかた	土居 浩
305	まわしよみ新聞を編む：コミュニケーションのデザイン	土居 浩
306	使い手のためのデザインとは～ユニバーサル・デザインの考え方～	町田 由徳
307	製品デザインと「色彩」	町田 由徳
308	製品デザインと「素材」	町田 由徳
309	異文化コミュニケーション～言語・文化・認知の視点から～	土井 香乙里

No.101



教授

こうむら まこと

香村 誠

博士（工学）

主要経歴

慶応義塾大学大学院
博士課程中退
三機工業（株）
明治大学兼任講師

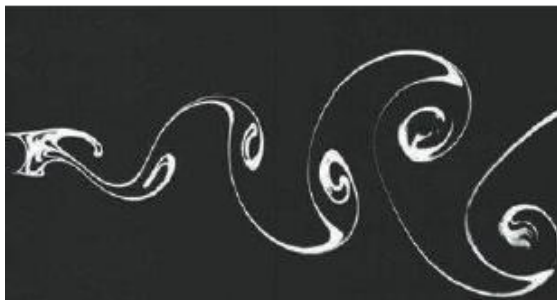
テーマ

風が吹くとなぜ電線は振動するのか？

概要

風の強い日など、電柱の間にピンと張られた電線が振動し、ピューピュー鳴っているのを聞いたことがありますよね。なぜあんな音が鳴るのでしょうか。針金や細い木の棒を持って水の中に入れ、ピューッと引っ張っても同じ現象が起こります。

たねあかしは、電線や針金などの物体が流れの中に置かれた際に物体の両脇から互い違いに生じる渦（これをカルマン渦と呼びます）なのです。この渦が物体を振動させるわけです。実はこの振動の周期と流れの速さを無次元の世界から眺めると、たいへん興味深い性質があることが分かります。この性質を利用すれば電線の振動数を測定するだけで風の速さを知ることにも可能になるのですよ。詳しくは教室でお話ししましょう。



円柱後ろのカルマン渦列（電解沈殿法）↑

† 種子田定俊，画像から学ぶ流体力学，朝倉書店（1990），p.98.

No.102



教授

こうむら まこと

香村 誠

博士（工学）

主要経歴

慶応義塾大学大学院
博士課程中退
三機工業（株）
明治大学兼任講師

テーマ

スーパーコンピューターの話

概要

みなさんはどこかで「スーパーコンピューター」という名前を聞いたことがあると思います。この分野でも日本の技術力は世界をリードしていて、少し前までは世界最速のマシンが日本製でした。さて、このスーパーコンピューターはふつうのコンピューターとどこが違うのでしょうか？そして、一体何のために使われているのでしょうか？

ここで正解を述べてしまえば面白くありませんね。主な仕事は連立方程式を解くことなのです、とだけ書いておくことにします。意外ですね、詳しいことはみなさんとお目にかかって、ゆっくりお話ししたいと思います。コンピューターで連立方程式を解く方法も、簡単なエクセル操作によって体験することが可能です。一緒に勉強しましょう。



2011年に世界最速を記録した
日本製スーパーコンピューター「京」†

† 理化学研究所

No.103



教授

さくた しげる
佐久田 茂

博士（工学）・技術士

主要経歴

東京大学大学院
修士課程修了
東芝生産技術センター
研究員

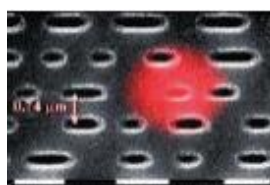
テーマ

光ディスクはどうやって作ってる？

概要

DVD、ブルーレイディスクは皆さんご存知ですね。レンタルビデオにたくさんあります。実は光ディスクの表面には、らせん状に小さな穴が数多くあいています。DVD とブルーレイでは、この穴の大きさと密集度が違うのです（下図）。

大きさは、髪の毛の太さの1/100 程度で見えません。工場では原盤という、たい焼きの「焼き型」のようなものを作り、それを使ってたい焼きのようにして光ディスクを素早く作っていきます。この原盤にも光ディスク同様、らせん状の穴が多数あいているわけです。数十万枚売れるような光ディスクでも原盤は、実はほんの数枚しか作りません。大変貴重ですね。授業では、こんな光ディスクや原盤の作り方を簡単に、アニメーションなど使ってわかりやすく紹介したいと思います。



<DVD> 1)



<ブルーレイ> 1)

1) 電子情報通信学会「知識ベース」 電子情報通信学会2011

No.104



教授

たけお やすし
武雄 靖博士（工学）
技術経営修士（専門職）

主要経歴

東京農工大学大学院
博士後期課程修了
関東職業能力開発大学
校准教授

テーマ

光速よりも速く回る歯車？

概要

歯車は、効率よく動力を伝達することができる機械部品で、機械式の時計や自動車などをはじめ、様々な機械装置の中で使用されています。歯車の重要な役割の中には回転速度を増減がありますが、たくさんの歯車を組み合わせることで、無限に速度を速くしたり遅くしたりすることが理論的には可能です。無限大の速度で回転する歯車…つまり光の速度（光速）を超えてしまうのです。

この授業では、たくさんの歯車を組み合わせた機械装置を用いて、歯車による動力の伝達や回転速度の増減についてわかりやすく説明し、本当に光の速度を超えることができるのかを考えます。



No.105



教授

たけお やすし
武雄 靖

博士（工学）
技術経営修士（専門職）

主要経歴

東京農工大学大学院
博士後期課程修了
関東職業能力開発大学
校准教授

テーマ

雷を使ってものづくり ー放電加工機についてー

概要

放電加工とは、小さな雷を使った金属加工法のひとつで、従来の加工法では難しいとされた硬い焼入れ材などを、容易に加工できるという利点があります。とくに、丈夫な材料が必要とされる金型の製作には、欠かすことのできない重要な加工技術です。そのほかにも、自動車産業をはじめ、航空宇宙産業やエレクトロニクス産業など、様々な分野で利用されています。

この放電加工を行なうのが放電加工機で、金属材料を人工的に作り出された雷により、不要部分を溶かして、求められる形状にするための工作機械です。

授業では、簡易式の卓上放電加工機を用いた微小な穴あけ加工を体験し、ものづくり技術についての理解を深めます。



テーマ

ユニークなロボット 「Qrobot」（キュウロボット）について

No.106



教授

ビチャイ
Vichai
サエチャウ
Saechout

博士（工学）

主要経歴

東京工業大学大学院
博士課程修了
(株)東芝
東京工業大学

概要

本講義では、これまで開発してきたユニークなロボット「QRobot」（キュウロボット）について紹介します。

QRobotは、転がりながら全方位に移動できる球体ロボットです。球体ゆえの、従来のロボットに無い様々な特徴およびその応用を分かりやすい図解／動画などで

解説します。また、開発したQRobotを実際に操作し、その面白い動きを体験できます。

動画サイト→<https://youtu.be/pkUk35BMQUc>



No.107



准教授

ひらの さとし
平野 聡

博士（工学）

主要経歴

長岡技術科学大学大学院
修士課程修了
東北大学大学院
博士課程修了
(株) 日立製作所研究
開発センター主任研究員

テーマ

古いけど大事な技術“溶接”

概要

モノとモノを付ける技術を接合といいます。その中で、材料を溶かして付ける技術を溶接といいます。工事現場とかで火花が飛び散るのを見かけたりしますが、あれも溶接の一つです。何となく地味で、興味持てない人が多いと思います。でも、モノづくりの世界ではとても大事な技術なんです。アメリカやイギリスには溶接だけを研究する大きな研究所があるくらいです。映画スター・ウォーズでお馴染みの、ピュン・ピュンと光が飛び出す武器、レーザー・ブラスターみたいな溶接機も最近開発されてます。でも、実は殆どのレーザーは目に見えないんです。



レーザ溶接機で自動車のボディを溶接している写真

No.108



准教授

ほそあい しんたろう
細合 晋太郎

博士（情報科学）

主要経歴

北陸先端科学技術大学院
大学博士後期課程修了。
九州大学学術研究員、株
式会社チェンジビジョン、
東京大学特任研究員を経
て、現職

テーマ

ロボットを動かす技術

概要

ロボットを動かす身近な場所で活躍するロボットは、機械だけでなく、電気回路やプログラム、さらにはAIなど多くの技術が組み合わさって動いています。

センサで周囲を感じ取り、モータを制御し、状況に応じて判断する仕組みには、理論と実践の両方が欠かせません。

本講義では実際に小型ロボットを操作しながら、どのように動きが作られているかを体験的に学びます。



No.109



准教授

ほそあい しんたろう

細合 晋太郎

博士（情報科学）

主要経歴

北陸先端科学技術大学院
大学博士後期課程修了。
九州大学学術研究員，株
式会社チェンジビジョン，
東京大学特任研究員を経
て、現職

テーマ

世界を支える小さなコンピュータ 「組み込みシステム」

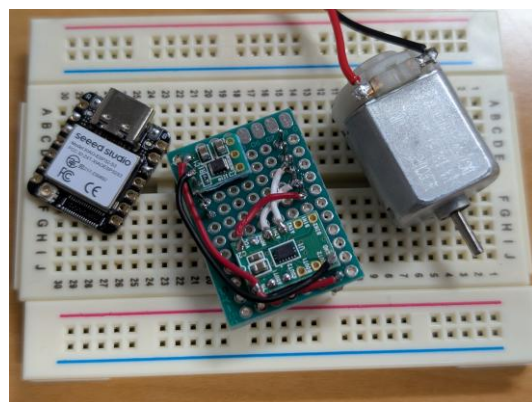
概要

大規模なソフトウェアを作るには身の回りの多くの電気製品には小さなコンピュータが搭載され、様々な制御を行っています。

このような小さなコンピュータが搭載されたシステムを「組み込みシステム」と言います。

例えば電気ポットのソフトウェアにバグがあると、火事に繋がってしまう可能性があるため、他のコンピュータシステムと比べ、組み込みシステムでは堅牢さが必要となります。

本講義では、組み込みシステムに用いられる小さなコンピュータを使い、実世界にアクセスする方法を学びます。



No.110



准教授

ほそあい しんたろう

細合 晋太郎

博士（情報科学）

主要経歴

北陸先端科学技術大学院
大学博士後期課程修了。
九州大学学術研究員，株
式会社チェンジビジョン，
東京大学特任研究員を経
て、現職

テーマ

大規模なソフトウェアを作るには

概要

ソースコードの規模は爆発的に増加している状況です。例えば自動車に使われているソフトウェアの行数は数百万行から数千万行に及びます。このような大規模なソースコードは到底一人では作れませんし、すべて理解することも難しいですが、ここに少しでも矛盾や不整合があると、バグに繋がってしまいます。

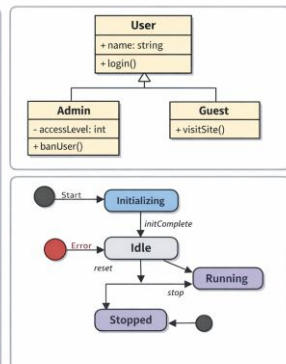
本講義では、ソースコードの解析や設計を体験し、ソフトウェアへの理解を深めます。

```
#include <iostream>
using namespace std;

class Example {
public:
    int value;
};

Example(int v) : value(v) {}
void display() {
    cout << "Value: " << value << endl;
};

int main() {
    Example ex(42);
    ex.display();
    return 0;
}
```



No.111



教授

まきやま たかひろ

牧山 高大

博士（工学）

主要経歴

電気通信大学大学院
博士後期課程修了
(株)日立製作所

テーマ

身のまわりの金属プレス製品

概要

皆さんが日常生活で触れることがある金属製品の多くは、プレス加工によって製造されています。では、プレス加工とはどのようなものか、ご存じでしょうか。プレス加工は具体的な加工法ではなく、プレス設備と金型を用いた加工の総称です。この授業では、プレス加工によって製造される身のまわりのものとして、貨幣と飲料缶を例に挙げ、これらの加工法について説明します。また、ものづくり大学生の主体的な取り組みによって行ったコイン製作について、金型の設計・製作から、プレス設備での加工までについても紹介します。



授業内容を象徴する写真データ

No.112



教授

まつもと ひろゆき

松本 宏行

博士（工学）

主要経歴

工学院大学博士課程修了
東京農工大学VBL特別研
究員

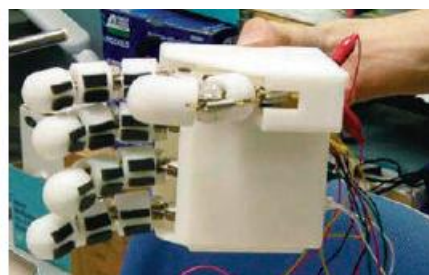
テーマ

人工筋肉を用いた未来のロボット？！
～ソフトロボティクス入門～

概要

人間（ひと）が運動をし、体を動かすためには筋肉が必要ですね。それでは、ロボットが運動すること、ロボット自身を動かすためには何が必要でしょうか…？

モータ？歯車？もちろん、それも正解です。でも、ロボットが人間のような動きを実現するために柔らかく自由自在に動くためには筋肉のように「しなやか」で、かつ「強く」動く仕組みが必要です。最近、「人工筋肉」を用いた研究取り組みが世界中で注目されています。人工筋肉とは？どのようなものが提案されているのか、動く仕組みは？といったギモンに答えた授業内容にしています。実演デモを交えて、体験型授業を通して、未来のロボットエンジニアである皆さんへ向けて授業を計画致しました。



No.113



教授

まつもと ひろゆき
松本 宏行

博士（工学）

主要経歴

工学院大学博士課程修了
東京農工大学VBL特別研究員

テーマ

心地よい音をつくるには ～「音のふしぎ」を考える～

概要

みなさん、次のような疑問を感じたことはありませんか。

- ・音はどのようにして聞こえる？
- ・年齢によって聞こえにくい音があるって本当？
- ・うるさい音を消すにはどうしたらいい？
- ・ココチよい音をつくるには？
- ・多くの音の中から特定の音を聞きわけけるには？

そのような「音のふしぎ」について解説をいたします。音と「ものづくり」がどのように関連するのか実例を交えながら、講義いたします。なお、専門的な事前知識は必要としません。

※当日は、体験デモを予定しています。



テーマ

コンピュータを活用した新しいものづくり ～3Dプリンタ、3Dスキャナについて～

概要

最近、話題になっている「3次元（3D）プリンタ」を中心として、これからの「ものづくり」において応用が期待される「付加製造技術」について講義をします。

- ・どのような材料でつくることができる？
- ・3Dプリンタってどのような仕組みでできているの？
- ・3Dプリンタで洋服、お菓子、建築物もできるって本当？

などのギモンにお答えします。

また、3次元スキャナ、レーザカッタなどに代表される「コンピュータを活用したものづくり」についても併せて解説を行います。「コンピュータを活用した新しいものづくり」に興味を持ってもらえればと思います。なお、専門的な事前知識は必要としません。

※当日は、体験デモを予定しています。



No.114



教授

まつもと ひろゆき
松本 宏行

博士（工学）

主要経歴

工学院大学博士課程修了
東京農工大学VBL特別研究員

No.115



教授

まつもと ひろゆき
松本 宏行

博士（工学）

主要経歴

工学院大学博士課程修了
東京農工大学VBL特別研究員

テーマ

「振動のふしぎ」を考える ～ものづくりに関わる振動工学の初歩～

概要

ロボット、自動車、工作機械などに代表される多くの機械構造物には振動現象が大きく関わります。実験やコンピュータを活用して、振動現象がどのようにものづくりに関わっていくのか…。

その「謎（なぞ）」に注目し、「振動のふしぎ」について考えます。「振動工学」が私たちの暮らしに密接に繋がっていることに気付く、そのような機会になればと思い、企画いたしました。なお、専門的な事前知識は必要としません。



テーマ

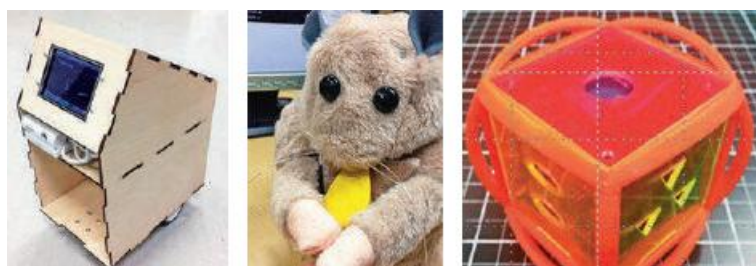
Iot、AR、VRで変わる 「近未来のものづくり」について

概要

ネットワーク技術を活用して、IoT（モノのインターネット）をはじめとした技術が開発されています。また、AR（拡張現実）、VR（バーチャルリアリティ）などをはじめとして、仮想（サイバー）空間と現実（フィジカル）空間をつなげる技術が注目されています。複数の工場同士が連携して、これからの「ものづくり」はどのように変わるのでしょうか・・・。

関連分野として、松本研究室では「画像認識による大学案内ロボット」、「SNSを利用した癒し（いやし）を与えるロボット」、「センサを活用した電子楽器」を開発しましたので紹介いたします。基本および専門用語をわかりやすく解説します。なお、専門的な事前知識は必要としません。

仮想と現実がつながる現在（いま）を実感してもらえればと思います。



教授

まつもと ひろゆき
松本 宏行

博士（工学）

主要経歴

工学院大学博士課程修了
東京農工大学VBL特別研究員

No.117



教授

まつもと ひろゆき
松本 宏行

博士（工学）

主要経歴

工学院大学博士課程修了
東京農工大学VBL特別研究員

テーマ

AIを活用した製品デザイン

概要

AI（人工知能）に関連するコンピュータ技術を活用した新しいものづくり技術が注目されています。多くの製造方法、多くの素材からなる組み合わせ候補からコンピュータは複数の「望ましい答え」を教えてください。その中から、適した「答え」を選択するのは「コンピュータ」ではなく、「ひと」になります。それでは、どのように選択すれば良いのでしょうか。話題となっている手法である「ジェネレーティブデザイン」を中心にして、松本研究室で製作した事例（感染防止自助具、身体支持具）をわかりやすく解説、紹介いたします。



テーマ

未来を創る私たちの循環経済

No.118



教授

まつもと ひろゆき
松本 宏行

博士（工学）

主要経歴

工学院大学博士課程修了
東京農工大学VBL特別研究員

概要

「サーキュラーエコノミー（循環経済）」という言葉聞いたことはありますか？

従来の「作る」「使う」「捨てる」という一方通行の経済から、「生産」「消費」「リサイクル」へと資源を循環させる経済への転換を目指す考え方です。デジタルものづくりにおいて、3Dプリンターが広く利用されています。その素材となるプラスチック樹脂についても、環境に配慮した取り組みが始まっています。現在、研究室で取り組んでいる事例をわかりやすく解説します。皆さんが循環経済を推進するきっかけになれば嬉しいです。

ぜひ、私たちと一緒に循環型の社会を目指し、「循環者」になりましょう!!



No.119

テーマ

音・オーディオの基礎入門編



教授

みつゐ みのる

三井 実

博士（情報科学）

主要経歴

北陸先端科学技術大学院
修了
北陸選択科学技術大学院
大学兼任講師

概要

ipodやウォークマン、携帯電話、携帯ゲーム機など、いまや音楽は様々な場面で様々な機器を用いて聴くことが出来るようになりました。実際の生演奏などの録音された音が皆さんの耳に届くまでには、いろんな機器や媒体を介しています。これらオーディオ録音再生機器に関わる基礎知識を分かり易く説明します。

現在、研究開発中のオーディオ機器のデモンストレーションを行い、生で聴いているような音再生を実感してもらいます。

テーマ

電子楽器の仕組みと、 もの大発！最新電子楽器の紹介

No.120



教授

みつゐ みのる

三井 実

博士（情報科学）

主要経歴

北陸先端科学技術大学院
修了
北陸選択科学技術大学院
大学兼任講師

概要

現在、シンセサイザーをはじめとした電子楽器は、作曲活動やレコーディング、ライブ演奏などの各場面で使われており、音楽業界には欠かせない存在です。この講義では、まずはじめに、電子楽器がどのように音を出力するのかその仕組みについてや、電子楽器の種類を説明します。また、現在ものづくり大学で開発されている電子楽器の数々をデモンストレーション付きで解説します。毎年、川崎市で行われる手づくり楽器アイデアコンテストで、2年連続で優勝した楽器たち、弦の無い電子チェロその名も「無弦チェロ」や、ヨーヨーを電子楽器化した「ヨーヨー型MIDIコントローラ」などを実際に触って頂けます。



ヨーヨー型電子楽器



無弦チェロ

No.121

テーマ

自動車生産現場での仕事

ものづくりは人づくり、改善に終わり無し

概要

工業製品に限らず、日用品や食料品など様々なモノが工場で作られています。品質の良いモノを皆さんに届けるために、ものづくりの最前線では何が行われているかを「改善」「トヨタ生産方式」をキーワードにお話しします。ものづくりには課題がいっぱいあります。工場働く人たちはその問題に対しどのように取り組んでいるのか？ 普段皆さんがあまり触れることのない話題かもしれませんが、社会の仕組みの重要な一面をわかり易く解説します。

教授

あらい ゆたか
荒井 豊

学士（機械工学）

主要経歴

法政大学工学部機械工学科卒
事業構想大学院大学事業構想科研究生
トヨタ自動車株式会社



テーマ

馬車をクルマに変えたヘンリーフォードの物語

No.122

概要

私たちの身のまわりにはたくさんのクルマが走り、誰もが当たり前のように便利に使っています。しかし一般に普及する前は、一部のお金持ちだけしか手に入れることのできない高価で特別なものでした。みんなが買えるようになったその訳は？… 100年前のアメリカでクルマのものをづくりを改革し、皆が買えるようにした男。その後社会にまで大きな影響を与えたヘンリー・フォードの業績をわかりやすく紹介します。ものづくりのスタンダードをつくった彼の業績を知り、クルマだけでなく世の中のものづくりの原理と、その苦労・楽しさをこの機会に一緒に考えてみよう。今まで思ってもみないことに出会い、きっと皆さんの今後にも役立ちます

教授

あらい ゆたか
荒井 豊

学士（機械工学）

主要経歴

法政大学工学部機械工学科卒
事業構想大学院大学事業構想科研究生
トヨタ自動車株式会社



No.123

テーマ

折り紙で体験するトヨタ生産方式

概要

世界に誇る日本のモノづくり「トヨタ生産方式（TPS）」を、遊び心たっぷりに体験してみませんか？

「効率化」や「カイゼン」と聞くと、少し難しく感じるかもしれません。でも、この授業の主役は、みなさんお馴染みの「折り紙」です。一枚の紙を折るというシンプルな作業の中に、実はムダを省き、最高の品質を最速で届けるための知恵がぎゅっと詰まっています。一人で折るのと、チームで連携して折るのでは何が違うのか？どこに「ムダ」が隠れているのか？実際に手を動かしながら試行錯誤することで、教科書を読むだけでは決して分からない、現場の熱量とロジックを肌で感じることができます。世界中の工場が手本にする最強のメソッドを、折り紙を通して楽しくマスターしましょう。あなたの「モノの見方」が、この一時間でガラリと変わります。



教授

あらい ゆたか
荒井 豊

学士（機械工学）

主要経歴

法政大学工学部機械工学科卒
事業構想大学院大学事業構想科研究生
トヨタ自動車株式会社

テーマ

TPSの源流とDXを活用した次世代のものづくり

概要

日本のモノづくりを支える「最強の思考法」の歴史と、デジタルが切り拓く驚きの未来をのぞけます。

かつてトヨタが発明した**TPS（トヨタ生産方式）**。それは、限られた資源で最大の価値を生むための「究極の知恵」でした。

今、その伝統あるスピリットがDX（デジタルトランスフォーメーション）と融合しとてつもない進化を遂げています。

この授業では、TPSの「源流」に触れながら、デジタル技術を駆使してモノづくりの常識をアップデートする最前線解説します。

「古い」と思っていたモノづくりの世界が、実は最もクリエイティブでワクワクするフィールドであることに気づけます。

豊田佐吉物語



No.124



教授

あらい ゆたか
荒井 豊

学士（機械工学）

主要経歴

法政大学工学部機械工学科卒
事業構想大学院大学事業構想科研究生
トヨタ自動車株式会社

No.125

テーマ

航空管制システムを作ってみよう

概要

いま日本の空にはたくさんの航空機が飛んでいます。昨今の航空需要の増加もあって、上空は大変に混雑しています。

そのため、航空機からは常に位置情報などのデータが送信されており、地上の航空管制システムにより監視されています。皆さんもインターネットやニュースで見たことがあるかもしれませんね。

この授業では、自分たちで特殊な機材を作成し、航空機データを実際に受信することにチャレンジします。また、このデータを視覚化し、パソコン上で管制システムを模擬してみましよう。



准教授

うえはら けんじ
上原 健嗣

博士（情報科学）

主要経歴

北陸先端科学技術大学院
大学博士後期課程修了
国土交通省航空局

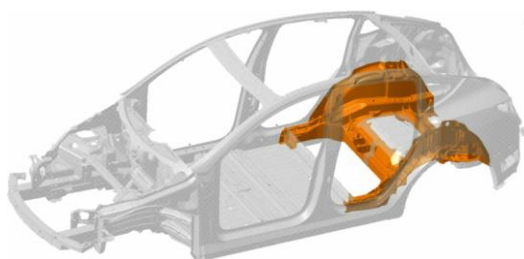
テーマ

金属を溶かして固める～鋳造加工とデジタル技術の活用

概要

金属を溶かして固めることにより複雑な形状創製が可能な技術が鋳造です。現在の鋳造技術と鋳造品の用途、溶解・凝固に関わる物理現象について説明します。

さらにこれからの鋳造技術として、鋳造技術とデジタル技術を融合して、高い製品性能や付加価値の実現を目指す事例についてお話しします。具体的には、3Dプリンターと鋳造技術の融合による自動車、航空機部品の製造、AR（拡張現実）とシミュレーション技術と鋳造技術を融合して、より複雑で高性能な製品を作る試みを紹介します。



教授

おかね としみつ
岡根 利光

主要経歴

東京大学大学院修士課程
修了、株式会社二コン、
東京大学大学院、国立研
究開発法人 産業技術総合
研究所

No.127

テーマ

アーティストの身体知をデータにする

概要

「上手くなる」とはどういうことだろう。絵を描く技や歌声の熟練の感覚は、繰り返しの学習を通じて身体で覚えた「身体知」である。この身体知をセンサーやAIで定量的に捉え、学習者の成長を可視化し学習支援につなげる試みを、描画と声楽の実践事例から紹介する。

教授

ながい たかし
永井 孝

博士（情報科学）

主要経歴

職業能力開発大学校造形工学科卒、信州大学大学院博士課程単位取得後退学、オーセブン株式会社、日本外国語専門学校、株式会社CMSコミュニケーションズ

No.128

テーマ

見えない電波で“ある？ ない？”を見つける — レーダ入門

概要

電波を使って物を計測する装置であるレーダは、船舶・航空機の管制をはじめ、降雨などの気象観測、車両の衝突防止、さらには心拍を測るヘルスケア分野まで、さまざまな場面で利用されています。本授業では、「距離」「角度」「速度」がどのようにして測られているのかを、身近な道具を使いながら分かりやすく学ぶことを目的とします。

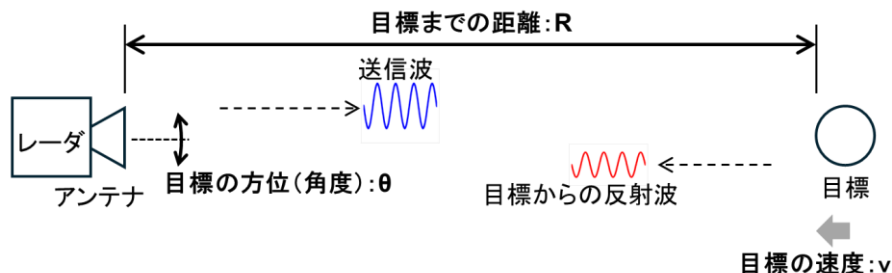
教授

やまぐち ひろゆき
山口 裕之

博士（工学）

主要経歴

防衛装備庁を経て2025年4月より現職



No.129

テーマ

センサがあるから安心して乗れる！

概要

私たちは通勤や通学あるいは旅行をする際、電車や自動車、飛行機などの乗り物（モビリティ）を利用しています。モビリティを安全で快適に利用できるのは、多くのセンサが働いているからです。モビリティには、速度や温度、振動、圧力、角速度（回転）などを計測するセンサや、画像を認識するセンサが搭載されており、異常を早期に検知することで事故や故障の防止に役立っています。普段は目にすることはほとんどありませんが、センサは私たちの安心・安全な暮らしを支える重要な技術です。

モビリティで使われている代表的なセンサの種類や仕組み、活用例を紹介し、それらが社会で果たす役割について解説します。

准教授

ぐしま かずや

具嶋 和也

博士（工学）

主要経歴

京都大学大学院博士課程
研究指導認定退学
公益財団法人 鉄道総合技
術研究所
国土交通省



ジャイロセンサ



画像センサ
(カメラ)



No.201



講師

あらまき たくみ
荒巻 卓見

主要経歴

ものづくり大学建設学科
卒業
日本大学大学院理工学
研究科博士後期課程修了
日本大学理工学部助手

テーマ

歴史から学ぶコンクリート

概要

コンクリートは、社会基盤や建築物を造る上で不可欠な材料です。コンクリートが構造材料として広く使用されるようになったのは19世紀後半以降であり、近代建築を象徴する材料の1つでもあります。日本の鉄筋コンクリート造で最初期の建築物としては、1911年に竣工した三井物産横浜ビル（2022年現存）が代表的です。木造が主流であった日本においてコンクリート造は比較的歴史の浅い存在であることが分かります。しかし、世界に目を向けるとコンクリートの歴史は古く、古代ローマ帝国の時代まで遡ることになります。本講義では、古代ローマで発展したコンクリートの技術を紐解くことで、コンクリートの魅力に触れていただきたいと思います。



テーマ

世界を変えるデザイン
「Design for the other 90%」

No.202



教授

いまい ひろし
今井 弘
博士（工学）

主要経歴

三重大学大学院
博士後期課程修了
アトリエ系設計事務所
NGO、JICA、建築研究所
防災科学技術研究所

概要

世界中の大半のものは、世界総人口の10%の日本を含めた先進国の人間のために作られている。世界の90%の人々は、私たちにとって当たり前製の製品やサービスに全くと言っていいほど縁がない。残り90%の人々の生活をよくするには何が必要なのだろうか？

例えば、アフリカには、井戸で水を汲み、何キロ、何時間と歩いて家まで水を運ぶ人々がいる。水運びは大変な重労働である。そこにこのドラム型の容器があれば転がして楽に運べる。シンプルだが、考え抜かれた「デザイン」が、人々の生活を大きく変える。世界には、そんな「ものづくり」に取り組む場が多くある。この世界の「本当のニーズ」に目を向け「Design for the other 90%」を考えよう



出展：Design for the other 90%/2007 Smithsonian Institution

No.203

テーマ

折り紙建築の制作を通して
カッターの使い方を学ぼう

概要

建築の分野では、建築を計画する上で、スタディ模型、プレゼンテーション模型、完成模型など多数の模型を制作します。

折り紙建築とは、紙をカッターで切ったり、折ったりすることでできる建築物などを立体的に再現するポップアップカードの一種です。

本授業では、折り紙建築を制作することでカッターの使い方や厚い紙の折り方を学び、建築のスタディ模型を作りながら空間を考察します。



准教授

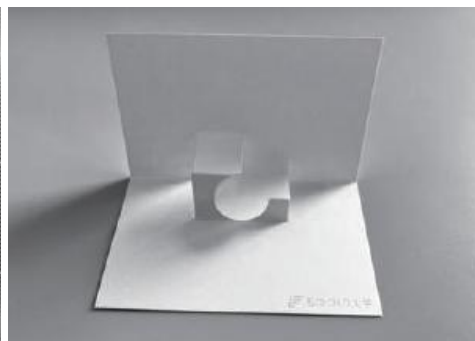
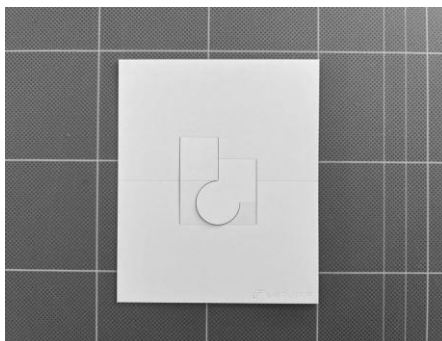
おおたけ ゆか

大竹 由夏

博士（デザイン学）

主要経歴

筑波大学 芸術専門学
郡デザイン専攻 卒業
筑波大学大学院 人間
総合科学研究科 芸術
専攻（博士後期課程）
修了



テーマ

アルミ箔で作る、建築模型

概要

キッチンで使われるアルミ箔。アルミ箔は紙よりも薄く、わずか10ミクロンほどの厚みですが、金属であるため比強度は高く、形を保持しやすい性質を持っています。

この特徴を生かし、実際に手を動かしながら簡単な立体を作ってみましょう。出来上がった立体にミニチュアの人型を置き、街や建築もしくは地形に見立ててみれば、即席の都市・建築模型の出来上がりです。（造形や材料の強さ、大きさの捉え方について学びます）



教授

おかだ きみひこ

岡田 公彦

主要経歴

明治大学理工学部建築
学科卒業
西沢立衛建築設計事務所
岡田公彦建築設計事務所

No.205

テーマ

昔の設計図を読み解いてみよう



助教

おくぎき ゆう
奥崎 優

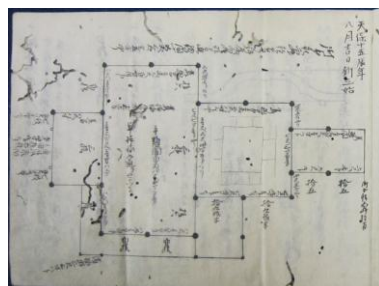
博士（工学）

主要経歴

芝浦工業大学大学院修士課程修了、岩瀬建築有限会社、芝浦工業大学大学院博士後期課程修了

概要

建物を建てる時に必要となるものが、設計図書です。その中には、設計図、仕様書、積算書など様々なものが含まれます。今では、設計をするのは建築家や設計士、施工をするのは大工や職人、というイメージがあるかもしれませんが、昔はそこに明確な区切りはなく、職人である大工が自ら建物の形を考え工事をおこなっていました。そして、そこには大工自ら作成した資料がありました。建物を建てるには設計のための資料が必要です。これは今も昔も変わりません。ですが、その資料は今と昔では少し様子が違います。昔の設計図はどのようなものだったのでしょうか。大工の記した資料を読み解きながら、昔の建築の仕事に触れてみましょう。



テーマ

木工具の話

No.206



教授

ささき まさたか
佐々木 昌孝

博士（工学）

主要経歴

早稲田大学大学院博士後期課程修了、内田橋住宅㈱、早稲田大学理工学部建築学科助手

概要

日本の文化は、しばしば「木の文化」と表現されます。実際、私たちの身のまわりには、木を使ってつくられたモノがたくさんあります。コースターのような小物から部屋に置かれている家具、はたまた世界遺産としてその名が知られる法隆寺五重塔などなど、小さな木製品から大きな建築物まで実に様々です。それら木の文化を支えてきたのは、作り手である職人・大工棟梁たちの技術であり、その技術をふるうのに必要不可欠なのが道具です。この授業では、作り手が自分の相棒として大切に使う様々な道具たちについてお話します。測る、書く、切る、削る、彫る、打つ、磨く、いろいろな道具を通して、匠の技と知恵に触れてみましょう。



No.207

テーマ

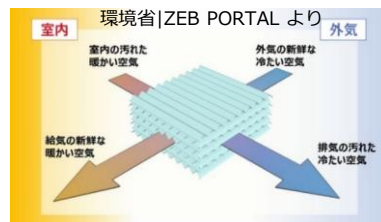
ダンボールの構造を建築的に科学する

概要

身近にあるダンボール。ECサイトで買い物をすると、ほとんど必ずといっていいほど目にするとお思います。実は、このダンボールの構造は建築でも広く応用されています。重い荷物でも底が抜けない強度だけではなく、断熱材や省エネ機器などの建築設備にもダンボールとよく似た仕組みが使われているのです。さらに、ダンボールは軽くて扱いやすいため、子どもたちの遊具としても親しまれていますし、災害時には応急的な家具としても活躍します。こうした身近な素材の意外な使われ方をライフハックのように紹介します。



Osanbashi Yokohama より



教授

さわだ まさき
澤田 正樹

博士（工学）

主要経歴

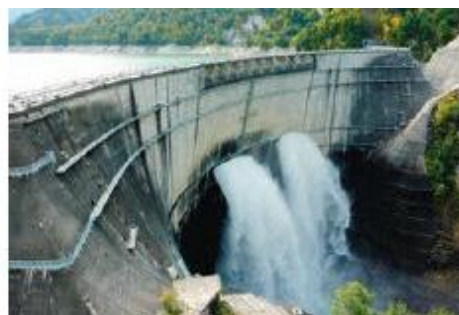
東京工業大学卒業、東京工業大学大学院修士課程修了、東京工業大学博士後期課程修了、ゼネコン設計部、指定確認検査機関などで勤務

テーマ

インフラを支えるコンクリート

概要

今の日本の生活を維持するためには、水道、電気、ガス、道路、橋、空港、港などのインフラが必要不可欠です。そして、どこにいても水が飲め、電気がきて、車が道路を走ることが当たり前になっています。これらインフラを支えているのがコンクリートです。コンクリートは安価で、非常に強い建設材料です。地震の揺れにも強く、またコンクリート自体は燃えません。このインフラを支えるコンクリートについて、強さの秘密にせまります。



教授

さわもと たけひろ
澤本 武博

博士（工学）

主要経歴

東京理科大学博士後期課程修了、若築建設株式会社、東京理科大学助手

No.209

テーマ

身近なものの使いやすさ、使い心地



教授

たかはし ひろき

高橋 宏樹

博士（工学）

主要経歴

順天堂大学大学院修士課程修了、
順天堂大学嘱託（体育学部生理学研究室）、東京工業大学助手

概要

私たちはいつも床や歩道、路面に接しています。言われてみればとても当たり前のことだけど、意識したことはありますか？ いつも接している床だから、転んだときにもあまり大ケガをしないように、また雨の日に濡れていても滑らないようになどなど、様々な工夫がされています。床だけではなく、身近にあるいろいろなものが、安全に使いやすい様に、使い心地がよくなる様に工夫されています。工夫することは簡単ではありません。でも、ヒトの体の仕組みや働きの特徴を少し勉強してから身の回りを見渡してみると、案外見つかるかも。そんな発見がユニバーサルデザインに繋がっていくのです。私はこんなことを考えながら研究しています。みんなもちょっと考えてみる？



テーマ

近未来のまちづくり

No.210



教授

たじり かなめ

田尻 要

博士（工学）

主要経歴

九州大学大学院博士課程修了、西松建設㈱、
群馬工業高等専門学校助教授

概要

都市に住むという行為は、人間にしかできないことのひとつと言われています。人間は昔から集まって生活し、やがて都市に発展していきました。豊かで住みやすい都市を創るためには、丈夫な建物にくわえて、快適に暮らしてゆくための「しくみ」が必要です。これからの都市は、より楽しく、より快適に、より健康的に住めるように、ますます「しくみ」が大切になってきています。じつはその「しくみ」は私たち自身で創るものでもあるのです。ではどうやって「しくみ」を創っていくのでしょうか？ 私たちの暮らしのために、ちょっと未来のまちづくりについて一緒に考えてみましょう。

No.211



教授

とだ つきお
戸田 都生男

博士（工学）

主要経歴

大阪芸術大学建築学科
卒業、京都府立大学大
学院博士後期課程単位
取得退学、M s 建築設
計事務所、麻生建築&
デザイン専門学校講師

テーマ

森林と街をつなぐ、ものづくり・ひとづくり —木匠塾とスギタラケ倶楽部の活動から—

概要

我が国の国土の約7割は森林で、戦後、植林されたスギなどが今、伐採期を迎えています。しかし、多くの人達はそれ以外の場所である都市や郊外と言われる街に住んでおり、木材の産地から離れています。皆さんの身近な暮らしの中でもっと木を感じることができれば、森林に思いを寄せて心身ともに豊かな生活が送れることでしょうか。木材はもともと樹木という生物で、多くの人との関わりの中でより良いものづくりが展開され、暮らしを彩っています。

この授業では、木を使ったものづくり（雑貨や家具から建築等まで）を紹介して、人の暮らしに木を使うことや木を感じることの楽しさとその効果を木匠塾とスギタラケ倶楽部という活動から面白おかしく真面目に紹介します。



テーマ

家の間取り図・カタチの秘密 —人々の暮らし方からみた住まい—

No.212



教授

とだ つきお
戸田 都生男

博士（工学）

主要経歴

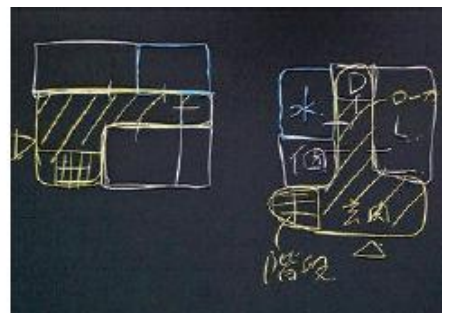
大阪芸術大学建築学科
卒業、京都府立大学大
学院博士後期課程単位
取得退学、M s 建築設
計事務所、麻生建築&
デザイン専門学校講師

概要

皆さんにとって、住まいとは何でしょうか？

住宅、住居、家...様々な言い方があるだけに、人それぞれ住まいへの愛着や印象も多様なことでしょうか。現在、我が国では新築住宅が減少傾向にあり、空き家の有効活用や中古住宅の改修などが着目されています。

そこで、この授業ではあらためて皆さんが多くの時間を過ごす「家」について、主に家の間取り図（平面のカタチ・プラン）を紹介しながら、家のカタチと人々の暮らしの関係を家の機能や地域の文化・住む人の習慣などをもとに紐解いていきます。そのことで、生活の拠点である「家」の持つ魅力をあらためて認識してみましょう。



No.213

テーマ

「Bird Call 鳴木声（なきごえ）」 ～木材を使った鳥のさえずり～

概要

木造建築の主要な材料として例えばスギやヒノキがあります。樹木は身近な山林にあり、それらを活用して人間が生活してきました。また、樹木は人間だけでなく動植物とともに生きています。枝に留まる小鳥を見ることが、鳥の鳴き声を聴くこと等は多くの皆さんが経験していることでしょう。そのような自然環境に思いを馳せながら、小さなボルトを木材に挿し、回すと鳥の鳴き声のような音がするBird Call（バードコール）を制作しませんか？木材に穴を開け、サンドペーパーで磨く等の作業で、木の香りや艶を体感できます。

この授業では、バードコールキットを作成し、音を聴いて楽しむことを実践する予定のため、少人数制を想定しています。



教授

とだ つきお
戸田 都生男

博士（工学）

主要経歴

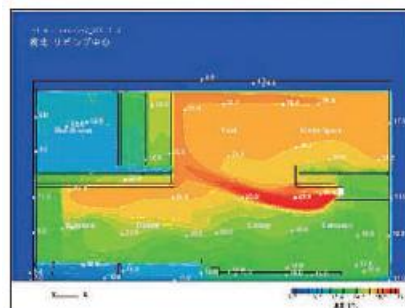
大阪芸術大学建築学科卒業、京都府立大学大学院博士後期課程単位取得退学、M s 建築設計事務所、麻生建築&デザイン専門学校講師

テーマ

エアコンの仕組み

概要

どこの家庭にもあるエアコン。夏の冷房はエアコンを使うしかありませんが、冬の暖房は、他にも様々な機器があります。なかでも石油ファンヒーターなどでの暖房の経験がある人は、エアコンの暖房では物足りないさを感じる人もいるのではないのでしょうか。エアコンはどのような仕組みで暖冷房を行っているのでしょうか？そして、エアコンの暖冷房能力はどのくらいなのか？さらに、冬期の室内環境に与える影響（気流や温度）と地球温暖化問題にもつながる省エネ性能について解説したいと考えています。



吹抜けエアコンCFD

教授

まつおか だいすけ
松岡 大介

博士（工学）

主要経歴

京都大学大学院博士後期課程修了、
(株)ボラス暮し科学研究所勤務
東洋大学非常勤講師

No.215

テーマ

住宅の断熱性能と健康



教授

まつおか だいすけ
松岡 大介

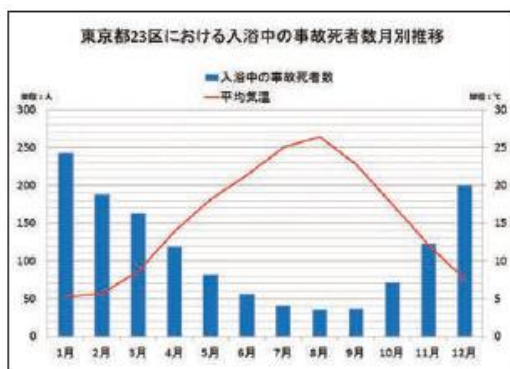
博士（工学）

主要経歴

京都大学大学院博士後
期課程修了、
（株）ボラス暮らし科学研
究所勤務
東洋大学非常勤講師

概 要

住宅内の死亡者数は、冬になると急に増えています。これは何故なのでしょう。近年、建築環境工学と医学の研究者による共同研究により、この理由が明らかになってきました。主な理由は住宅内に生じる温度差ですが、人体の血圧などの生理現象をはじめ、住宅内で温度差が生じるメカニズムを解説し、ものづくりの現場（住宅建築）では、どんな設計や施工が必要なのか、実施されている対策などをお話したいと考えています。



テーマ

住宅内の結露

No.216



教授

まつおか だいすけ
松岡 大介

博士（工学）

主要経歴

京都大学大学院博士後
期課程修了、
（株）ボラス暮らし科学研
究所勤務
東洋大学非常勤講師

概 要

夏に冷たい飲み物を入れたコップにつく結露。冬には窓ガラスについているのを見たことのある人が多いのではないのでしょうか。この冬の窓につく結露は、過剰に発生すると、その水によってカーテンや窓の周りがシミになったり、カビが生えたりして、大変な思いをしている人もいます（皆さんの家ではどうでしょうか？）。どうしたらこの結露を減らすことができるのか、結露発生のメカニズムとともに解説します。さらにはもっと怖い、建築においては見えない部分で発生する結露もあります。これは知らないうちに木材を腐らせたりするので、これを防止することは重要です。そのために、ものづくりの現場（住宅建築）では、どんなことを行っているのか、そんなことをお話したいと考えています。



小屋裏結露

No.217



教授

みはら ひとし
三原 斉

博士（工学）

主要経歴

近畿大学卒業、
工学院大学大学院博士
後期課程修了、
村本建設株式会社建築
部・工事事務所長

テーマ

「建設業の未来の話」と「ものづくり体験授業」

概要

建設産業は、GDPの約10%を担うとともに全産業の約1割の就業人口を抱える基幹産業です。

建設業では、ゼネコン（総合工事業）が、学校や病院などの公共施設や共同住宅・事務所ビル等の建築物を造っています。サブコン（専門工事業）では、左官工事業・大工工事業・タイル工事業等の多くの職種の専門工事会社が、ゼネコンの下で1つの建物ごとにプロジェクトを構成し、建築物を造り込んでいきます。工務店は、地域に根差しており戸建住宅や事務所ビル等をつくります。ハウスメーカーは、主としてプレファブリケーションにより住宅をつくります。主として、上述した4つのタイプの建設業における建築生産のしくみをわかりやすくお話しいたします。

また、以下に述べたように、手を動かしてものづくりを楽しみながら考える「ものづくり施工体験授業」も行っております。希望される方は、その旨を担当者にお知らせください。建築生産のしくみの一部をわかりやすく伝えるために、建物の内外装に使用される建築材料を用いて、仕上げ工事を体験していただく体験授業を用意いたしました。この体験授業では、伝統的な左官（さかん）工事に良く用いられる漆喰（しっくい）塗りや、タイル工事の一つであるモザイクタイル張りによる「ネームプレートづくり」のどちらかを行います。生徒諸君が体験授業でつくった「ネームプレート」は持ち帰っていただき、ご自宅でお使いいただくことが可能です。この体験授業は、手を動かして楽しみながら建設業について学ぶことができるものです。



テーマ

歴史的建造物の話

No.218



教授

よこやま しんいち
横山 晋一

博士（工学）

主要経歴

横浜国立大学大学院博士
課程後期修了、
（財）文化財建造物保存
技術協会、立教大学

概要

世界最古の木造建築でもある法隆寺金堂と五重塔は7世紀後半頃の建立であり、既に1300年以上の月日が経過しています。樹齢1000年を越える構成部材のヒノキは未だ健在であり、更に今後1000年は持つのではないとも言われています。これは定期的なメンテナンス（修理）によりかなうものですが、そこには時代ごとの歴史も刻まれています。歴史的建造物を建築考古学的に見詰め直すことで、新たな発見と工匠たちの思いが理解できます。



No.301

テーマ

半径5メートルの経営学

概要

コロナ禍で不透明さの増す今、リモートワーク、オンライン授業、副業解禁など自分を経営することが根本的に問い直されています。私たちはどのような視点に立って、自分の半径5メートルを「経営」すればよいのでしょうか。生産性をあげるには何に気を付けたらよいのでしょうか。日頃から心がけるべきこと、成果の挙げ方、時間管理、自分の強みの見つけ方、勉強の仕方、細部へのこだわりなどのポイントを丁寧に解説します。



教授

いさか やすし
井坂 康志
博士（商学）

主要経歴

早稲田大学政治経済学部卒業、東京大学大学院博士課程単位取得退学

テーマ

会社で何が行われているのか

概要

何気なく存在している会社。誰もが何らかの形でかわりを持っている会社。大きい会社、小さい会社。会社とはいったい何なのでしょう？まさに現代は会社の時代と言えます。会社を有効に働かせているものは何か。大人は会社で何をしているのでしょうか。会社の持つ形、地域社会との共生、さらには個人との関係など、事例に即しながら、経営学者の立場からやさしく解説します。



教授

いさか やすし
井坂 康志
博士（商学）

主要経歴

早稲田大学政治経済学部卒業、東京大学大学院博士課程単位取得退学

No.303



教授

いさか やすし
井坂 康志
博士（商学）

主要経歴

早稲田大学政治経済学部卒業、東京大学大学院博士課程単位取得退学

テーマ

経営学の父「ドラッカー」の使い方

概要

現代経営学の父と称されるドラッカー（1909～2005）の仕事は、徹しく奥深いものがあります。彼は現代社会のさまざまな変化をつねに驚くべき正確さで先取りしてきました。経営学の大作『マネジメント——課題、責任、実践』、最後の著作『ネクスト・ソサエティ』、大ベストセラーとなった『もしドラ』（岩崎夏海氏）など、現代の状況を見据えつつ、改めてドラッカーのメッセージを丹念に読み取り、その有効な活用法をお伝えいたします。



テーマ

千年村の、みつけから

No.304



教授

どい ひろし
土居 浩
博士（学術）

主要経歴

総合研究大学院大学修士
国際日本文化研究センターCOE研究員

概要

「千年村」とは、千年以上にわたり、自然的社会的災害・変化を乗り越えて、生産と生活が持続的に営まれてきた集落・地域のことをさします。様々な変容を受け入れつつ、長い存続の歴史を持ちつづけてきた場所には、長期的生存にまつわる仕組みがすでに育まれてきたはず。その確信のもと、まずは日本列島上の千年村をさがして、現地を訪ね、千年以上も存続してきた仕組みを解明すべく、調査研究を続けています。千年村は、案外と私たちの住む近くにあるのです。この講義では、千年村をさがしている千年村プロジェクトが、これまで明らかにしてきた一端を紹介します。

千年村プロジェクト <http://mille-vill.org/>



No.305



教授

どい ひろし
土居 浩
博士（学術）

主要経歴

総合研究大学院大学修士
国際日本文化研究セン
ターCOE研究員

テーマ

まわしよみ新聞を編む： コミュニケーションのデザイン

概要

まわしよみ新聞とは、陸奥賢さん（観光家／コモンズ・デザイナー／社会実験者）が考案した、全国展開中のメディア遊び（ワークショップ）です。4人くらいで集まり、持ち寄った新聞をまわしよみ、気になった記事を切り取り、互いに記事を紹介し、切り抜いた記事を使って壁新聞を作る……たったこれだけの作業なのに、初対面同士でも盛り上がる場作りとして、とても注目されています。この授業では、本学から持参する業界紙を基に、まわしよみ新聞を編んでもらうことで、参加者相互はもちろん、参加者自身も意識していなかった興味関心の方向性を、あぶり出してみたいと思います。



テーマ

使い手のためのデザインとは ～ユニバーサル・デザインの考え方～

概要

私たちは日常生活の中で、多くの製品や、環境に囲まれて暮らしています。しかし、その製品や環境の多くは無意識的に「健康な右利きの若い男性」の使用を前提として作られたものである。という事に気付かないまま、今も多くのものが製造、販売され、それを使えない人たちの存在が見過されたままになっています。

本講座では、ワークショップを通じて身近な製品のデザインに潜む様々な問題点を見つけ出し、年齢、性別、障がいの有無や身体的特徴に関わらず、あらゆる人にとって使いやすい製品や環境を実現する「ユニバーサル・デザイン」の考え方を学び、多様な使い手の存在を考慮しながら「もの」を作る視座を獲得します。



No.306



教授

まちだ よしのり
町田 由徳

主要経歴

東京造形大学 造形学部
デザイン学科卒業
岡崎女子短期大学准教授

No.307



教授

まちだ よしのり
町田 由徳

主要経歴

東京造形大学 造形学部
デザイン学科卒業
岡崎女子短期大学准教授

テーマ

製品デザインと「色彩」

概要

製品のデザインを考える上では、“Color”（色彩），“Material”（素材），“Finish”（仕上げ）の三要素を適切に計画することが必要です。

そこで本講座では、その中の“Color”（色彩）の美しいコーディネートを実現するために、「色」が見える仕組みから、「色相」「明度」「彩度」の色の三属性、実践的な配色の方法論の例を学びます。

講座を通じて、皆さんの生活やものづくりの中において、自信を持って色彩をコーディネート出来る能力を身につけましょう。



テーマ

製品デザインと「素材」

No.308



教授

まちだ よしのり
町田 由徳

主要経歴

東京造形大学 造形学部
デザイン学科卒業
岡崎女子短期大学准教授

概要

製品のデザインを考える上では、“Color”（色彩），“Material”（素材），“Finish”（仕上げ）の三要素を適切に計画することが必要です。

そこで本講座では、その中の“Material”（素材）に対する理解のきっかけとして、「椅子」のデザインを例として、素材の選択が形態や機能に大きな影響を及ぼすことを学びます。

講座を通じて、身の回りにある「もの」がどのような素材で作られているかを観察し、その特性を考える姿勢を身につけてください。



No.309

テーマ

異文化コミュニケーション ～言語・文化・認知の視点から～



講師

どい かおり
土井 香乙里
修士（文学）

主要経歴

早稲田大学大学院博士
後期課程修了、
早稲田大学人間科学学
術院人間情報科学科

概要

英語で何かを表現する時、難しいなと思うことや英語にすると違和感があることがあります。また、正しい英文法を使って話しているにも関わらず、英語圏の人とのコミュニケーションがうまくいかないこともありますね。「ことば」は、それを使う文化圏の価値観などにとっても影響されており、同じ物や出来事について表す際にも、言語により表現の仕方が全く異なる場合があります。授業では英語と日本語を中心に扱い、人間の認知の仕方がどのように言語に影響し、それが言語間の違いとして現れているかをお話します。普段、当たり前だと思っている物事の捉え方・認知の仕方が「通常ではない」言語についても触れ、ことばについて考えて見ましょう。

